

社会的な気づきの段階と行動面の課題例

社会的な段階	解説	行動面の課題
接近	ある程度の範囲内で他者の近くで活動する段階	周囲や近くにいる人、その言動が無視できず混乱や癩癩などを起こす。周囲の状況に気づいていない行動がある。
並行	同じ物をもっている他者と並行で活動する段階	並行で周囲や近くにいる人、その言動が無視できず混乱や癩癩などを起こす。周囲の状況に気づいていない行動がある。
共有	材料や道具などを共有で使った活動を進める段階	相手のイメージを想像できない言動と、そこで生じた混乱が見られる。
協力	1つまたは複数の目的に向かって協力しながら活動を進める段階	順番交代を守ることができない。周囲のからの注意等によって起こる混乱が見られる。
順番交代	材料や道具、場所、活動を順番を意識し交代で進める段階	ルールを守ることができない。字義通り、正確なルールを相手に強要する。
ルールの尊重	公式な又は自然にできたルールを意識して活動を進める段階	周囲で起こっていることがイメージできていない言動と混乱がおこる。
対人的相互交渉	状況にあわせて相手又は周囲の人に相互交渉しながら進める段階	相手が自分の物（又はそう思っている物）を使っていることが許せないことからの言動。どのタイミングで使って良いのかわからないと混乱する。